アトリエの今

工事現場から

（4月20日現在）

■ 浜松共同住宅：12月に完成しました。

■ T邸改修計画：住宅兼用医院の住宅部の改修工事が3月に竣工しました。

T邸改修計画　竣工写真

■ 高崎 蔵のギャラリー：今月頭に完成しました。ギャラリーのオープンは秋頃を予定しています。

■ 鎌倉店舗併用住宅新築計画：店舗仮オープンとなりました。正式なオープンは改めてお知らせいたします。

■ 真言宗 豊山派 松花山 宝珠院 客殿新築工事：建物、外構が完成し、現在造園工事を行っているところです。

■ 高井戸二所帯住宅新築計画：姉と妹の娘世帯の二所帯住宅。現在内部の造作に取りかかっています。

磐田市歯科医院　現場写真

■ 磐田市歯科医院新築計画：5月完成予定です。

■ さいたま市浦和美園店舗新築計画：現在基礎工事を行っています。

設計室から

■ Kクリニック計画：錦糸町のクリニック新築計画。秋頃の着工を目指して進めています。

■ 鹿沼市N邸新築計画：実施設計は大詰め、現場では樹木の移植や解体工事が始まっています。

Kクリニック　模型写真

遊・学・イベント

今年は初の試みとして入之内が参加した世界の集落調査のスライド上映会を企画しています。

他にも随時イベントを追加して行きますので、お楽しみに！

＜終了イベント＞

- 3月14～22日　ウズベキスタン集落調査（入之内）
- 3月29日　お花見
- 4月19日　高尾山ハイキング

ウズベキスタン写真。
入之内のカメラには1000枚以上の写真がおさめられていました。

＜今後のイベント＞

- 5月　カヌー遊び
- 6月　物づくりのプロによるトーク
- 6月　尾瀬ハイキング
- 7月　ウズベキスタン集落スライド上映会
- 7月　八ヶ岳登山
- 8月　八丈島海遊び
- 9月　曼珠沙華ハイキング
- 10月　勉強会
- 11月　御岳紅葉狩り＆バーベキュー
- 12月　忘年会

※興味のある方は 担当:西村 までお問い合わせ下さい。

住まい考

造る人　～木のアーティスト　ログビルダー 土屋宗一郎～

ヒト

角材（挽き割り材）を上手く扱う職人は多いが、丸太材を建築に活かせる職人は少ない。土屋さんの主催する天城カントリー工房は丸太を利用した建築（主にログハウス、PSB工法等）を造る工房で、土屋さんからその技を学ぼうと全国から若い職人が工房にやってきます。

天城カントリー工房のメンバー

私と土屋さんの付き合いは、ある雑誌社が行った全国の丸太組建築（ログハウス）の日本一を決めるログハウス・オブ・ザ・イヤーの審査員を私が務めたことが出会いの発端です。土屋さんはその第一回の大会で見事日本NO1に輝いたのです。表彰席で土屋さんへ賞を渡し握手をしたその手は大きく扁平で、節だらけの分厚い手は日頃の弛まぬ努力と、その作業の過酷さを物語っていたのです。「あっ、この人に賞をあげて良かった。土屋さんの作品をNO1に選んで間違いなかった」と私は一人嬉しく思ったのです。後に土屋さんの息子さんが私の事務所のスタッフとなり、もう２０年近く仕事を含め家族的な付き合いをしています。ちなみに当社の伊豆の出張所（アトリエ）は天城カントリー工房の一角に置かせて頂いています。

土屋さんの手。
作業の過酷さが窺われる。

ワザ

土屋家は先代が建具屋さんと聞きます。従って土屋さんは幼い時からもの造りの環境にあり、木材に親しんで来られました。建具職人と言えば、一般には広葉樹から針葉樹までの木を選び、きめ細かい加工を得意とします。木を加工する木工道具は、各種の鑿、鉋、鋸に始まり大変な数になります。

そうした環境から一変して、土屋さんはログハウスの加工とビルダーの道を選ばれました。扱う木材も樹齢３０年位の細身の丸太から７～８０年の太い丸太まで幅広く、樹種は杉や檜、松、唐松、スプルース等の針葉樹が多い。それらの多種多様な木材に、チェンソーひとつで複雑な加工を行ってしまうのです。

モノ

↑加工の様子

熊のオブジェ↓

ログハウス建築は大小の丸太が巧みに重なり（ノッチと呼ぶ）、堅牢な丸太組の壁を造ります。自然の丸太を相手にしますので重なり合う丸太は太さも形状も異なり、重なりは複雑な形状になります。その重なりの形状（ノッチ）をいかに精度良く加工し組上げるかがログハウス職人の腕の見せ所で、最も難しく大切な加工技術なのです。その加工を土屋さんはチェンソーを巧みに使いこなしスピーディーに仕上げて行く。彼の手にかかると一本の丸太はログハウスの壁材としてだけでなく、変幻自在な形をもった生き物の姿に変わっていきます。丸太は羽を広げた鳥へ、クジラやイルカ、熊やウサギへと彫り上げられます。これは単に木の加工技術と言うより、熟練した職人にしか果たせない木の芸術、アートにも思えます。

天城カントリー工房設計・施工のドコモショップ+レストラン

素朴な丸太組の建築の中に、建具職人として代々受け継がれた木に対する深い知識と技術が生かされているのです。（A・I　記）

知の広場

*Free Colum file.2　自転車のススメ

東京では最近よく自転車通勤の人を見かけます。ロードバイクのような本格的な自転車に乗って長距離移動している人も多くいます。運動不足解消や、電車通勤が苦手で通勤している人、また自転車が好きで週末には100km程度走る人もいます。

そんな私も一昨年から自転車にハマってしまい、できる限り自転車に乗っています。電車・バスは便利なのですが、ある地点ある地点を点々と移動しているようで常に駅を中心に動いてしまいます。

その点自転車は自分の意志により経路を選択、判断して移動します。自分のような地方出身者でもまちとまちのつながりが見え、土地勘もどんどんとできてきます。電車移動だけでは感じることのできなかった、まちなみの変化を感じながら颯爽と走れる事は非常に刺激的です。

走るたびに新しい発見、予期せぬ出会いに遭遇していく楽しさはもう止められません。

まちを走るもよし、自然のなかを走るもよし。自転車はガソリン等の燃料を使わず排ガスも出ない、自分の中にたまってしまった不要な脂肪を燃料（笑）として走る、体にも地球にもとてもよい乗り物です。

ちょうど今の季節は自転車にぴったりです。新緑を眺めながらいつものまちを自転車で走ってみると新しい出会いに遭遇するでしょう。

今年よりメタボ検診が始まりましたし、何か始めたいなと思っている方にはお勧めです。　（Y・N　記）

＋ はみ出しコラム ＋

河津アトリエ土屋雅史が設計を、天城カントリー工房が施工を行った世田谷は桜新町のお好み焼き屋『古無門』へ行ってきました。

もともと雑木林だったという敷地内には所狭しと桜や椿の大木が生い茂り、閑静な住宅街にあるとはとても思えないたたずまいでした。

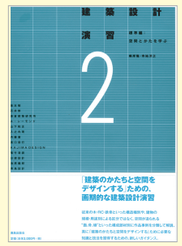
世田谷区弦巻4-14-1　桜新町より徒歩7分
TEL：03-5451-8800
営業時間：11:30-23:00 年中無休

←門からログハウスまでのアプローチ。
広い敷地には樹々や下草が生い茂っていて“庭園散策”でもしているかのような気分になります。

建物は伊豆から運んできた９０年ものの丸太をふんだんに使用したログハウスで、気のぬくもりとずっしりとした重厚感のある、とても落ち着いた雰囲気のお店でした。

お好み焼きはもちろん、その他の焼き物メニューも豊富でどれも

書籍紹介　当アトリエの関連書籍です。



● 建築設計演習2　標準編

編著／峰岸隆、寺地洋之　鹿島出版会　2008年

当アトリエが1984年に設計しました、12坪弱のログハウス「原村Y山荘」が掲載されています。

ログハウスとして、最小限空間でローコスト建設可能なモデルを模索して作りました。

●「終の住みか」のつくり方

著／高見澤たか子　集英社文庫　2008年

前号で御紹介した、「終の住みか」のつくり方（高見澤氏が当アトリエと共に挑んだ自宅大改修の奮闘記です）が文庫本となりました。

新たな撮りおろしも含め一部加筆もしています。

□□ 住まい相談室“楽居フォーラム” □□

毎月2回、住まい相談室を開催しています。これから住まいを建てたいと考えている方、住宅の改修等何でもご相談下さい。また、アトリエではより良い建築・住環境づくりの為に勉強会も行っています。お気軽にお問い合わせください。

開室日：毎月第1、第3土曜日
時間　：15時～18時
場所　：都市梱包工房（東京都渋谷区代々木）

ご希望の方は事前に　受付：成田　までお問い合わせください。

※お問い合わせは下記の TEL、FAX、E-mailいずれでも結構です。

編集のマド

創刊の折より様々な方面から感想をいただいておりましたが、今回は年賀とあわせて大変多くの感想をお寄せいただきました。

R・Kさん

「楽居」楽しく読みました。
初心を忘れず、テーマの追求に励んで下さい。期待しています。

T・Mさん

「楽居」ありがとうございました。
温かさと懐かしさで拝読しました。
皆様のご活躍をお祈りいたします。

近年お付き合いの始まった方から、また、以前より親交の深い方からあらためて感想をいただくと、編集者として身の引き締まる思いです。

他にも数多くのご意見をいただきましたが、特に多かったものが――**『写真が小さくて見にくい』**というご意見でした…

ページの関係上、大きな写真を載せる事が紙面上では難しいため、当アトリエのホームページにて『楽居』の公開を開始しました！

カラーの写真を拡大してご覧いただけますので、ホームページへも是非お越し下さい。

＜編集＞
入之内/小池/
西村/成田

一級建築士事務所
株式会社 建築計画研究所 都市梱包工房
ARCHITECTURAL DESIGN & CITY PLANNING OFFICE
〒151-0053　東京都渋谷区代々木3-2-7マルモール代々木203
TEL 03-3374-7077　HP http://www5.ocn.ne.jp/~toshikon/
FAX 03-3374-7099　E-mail toshikon@eos.ocn.ne.jp